

提出日	R5.6.23
担当	課名 子育て支援課
	グループ名 子育て支援グループ
	記入者名

1 事業概要						
(1)事業名	母子保健事業費		(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	一般事業
(4)第5次総振での位置づけ			(5)予算・財源等の別			
①基本目標	健康で安心して住めるまち(保健・医療・福祉の充実)		①会計区分	一般会計		
②大項目	保健・医療		②財源区分	国庫補助		
③中項目	保健事業の充実		③予算科目	款	4	項
④施策	母子保健の充実		④予算事業名	母子保健事業費		
⑤施策コード	5.2.2.2	掲載ページ	82	ページ		
(6)実施根拠			(7)総合戦略			
①事務分類(自治・受託)	自治事務		①総合戦略 (該当事業名)	無		
②根拠法令	母子保健法					
③事業期間	開始	不明	年	月	から	終了
						未定
						年
						月
						まで
2 事業の目的・対象及び内容						
(1)目的(何のために行うか)			(3)手段(内容・どのような取り組みか)			
妊産婦の健康管理の向上と育児不安の軽減を図るため、切れ目のない支援を行う。また未熟児や軽度発達障害児等を早期から支援することにより、乳幼児の健やかな成長・発達を促し、育児環境を整え虐待を予防する。			妊娠届出時の母子健康手帳交付の際、妊婦へのアンケートを実施し、不安を抱える方へ早期から支援を行う。妊婦健康診査、乳児家庭全戸訪問と産婦への産後うつ病スケールの実施。乳幼児健康診査(4か月・10か月・1歳6か月・2歳・3歳)の実施する。要支援児等に対して療育支援事業を実施し乳幼児の健やかな成長発達を促す。育児不安・負担を抱える保護者に対し養育支援訪問事業を行う。心理相談により保護者や児の心理面のサポート、地区担当による家庭訪問等を行い、虐待等の早期発見と育児支援を行う。			
(2)対象(誰に対して、何に対して行うか)			(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)			
妊産婦、乳幼児とその保護者等			乳幼児の健やかな成長発達と保護者の育児不安の軽減。未熟児や軽度発達障害児等への早期介入と早期支援による成長・発達支援。産婦や保護者の育児不安を解消し精神面の支援により虐待予防が図れる。			
対象数	1,652	単位	人			
(5)事業を取り巻く環境(社会環境、町民ニーズ等)、団体、議会等からの要望など						
妊娠期から子育て期までの、切れ目のない包括的な支援が求められている。発達の遅れなどに対する療育事業の質的成果。						
(6)SDGsへの貢献						
						
3 事業のコスト(実績・予算・決算) (単位:千円)						
(1)事業(内容)名称		母子保健事業費				
項目	決算・予算年度	R元年度決算	R2年度決算	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算
(2)事業費内訳	賃金(報酬)	2,024	1,084	1,156	1,185	0
	報酬費	3,716	3,554	3,380	3,261	3,265
	需用費	329	353	301	264	236
	役務費	250	251	243	240	282
	委託料	10,625	10,208	9,389	9,507	10,202
	その他	207	155	180	1,685	363
	直接事業費合計	17,151	15,605	14,649	16,142	14,348
(3)財源内訳	国庫支出金	881	87	346	806	75
	県支出金	169	150	552	369	592
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	1
	一般財源	16,101	15,368	13,751	14,967	13,680
	合計	17,151	15,605	14,649	16,142	14,348
(4)補助金名	乳児家庭全戸訪問事業費補助金・養育支援訪問補助金・母子保健情報連携システム改修補助金・産後うつケア推進事業費補助金		乳児家庭全戸訪問事業費補助金・養育支援訪問事業費補助金・産後うつケア推進事業費補助金		乳児家庭全戸訪問事業費補助金・養育支援訪問事業費補助金	
(5)人件費	投入職員数	1.7	1.7	1.7	1.7	2
	年間人件費	13,117	12,986	12,968	12,821	15,394
(6)総事業費	30,268	28,591	27,617	28,963	29,742	
	サービス量(人)	1,635	1,669	1,562	1,652	1,652
	サービス単価	18.5	17.1	17.7	17.5	18.0
	(単位)	千円/支援1人あたり				

4 指標の検証(活動指標・成果指標)		母子保健事業費				
指標名		単位	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算積算	
(1) 活動指標(実施した事業の量:回数、延長、面積等)						
指標名	乳幼児健診実施日数	目標値	日	24	24	24
		実績値	日	24	24	
		達成率	%	100.0	100.0	
	目標値					
	実績値					
(2) 成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度:人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等)						
指標名	乳幼児健診受診率 (総振目標指標p83) R7年度目標値 100.0%	目標値	%	100	100.0	100
		実績値	%	97.0	96.62	
		達成率	%	97.0	96.6	
	こども発達相談参加者数 (総振目標指標p39) R7年度目標値 75人	目標値	実人数	75	75	75
		実績値	実人数	73	57	
達成率	%	97.3	76.0			
(3) その他指標に現れない成果						
<p>妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の質的成果。発達の遅れなどに対する療育事業の質的成果。令和5年1月より乳幼児健康診査の時に屈折検査を導入した。より効果的に精密検査対象者を見つけることができるが、長期の経過を確認する必要があるため成果としての指標として現れにくい。令和4年度もコロナ感染症対策を行い健診等を実施したが、指標として現すことができない。</p>						
5 事業評価						
(1) 項目別評価						
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。	
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	1	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他()	
	実施主体の 妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他()	
妥当性	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他()	
	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他()	
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他()	
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他()	
有効性	成果の向上	1	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	3	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他(コロナ禍での実施の為、時間差受付や人数制限をもうけた。成果は上がっている。)	
進捗度	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他()	
(2) 総合評価(上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。)						
<p>令和4年度もコロナ禍での事業展開となり、乳幼児健診については健診ごとに受付時間を分け密を避けて実施した。療育事業についても予定通り実施し、保護者が孤立しないよう、また必要な児童に療育が途切れることがないよう努めた。妊娠期から子育て期にある保護者と乳幼児が孤立することのないよう、電話・面接・訪問にて切れ目なく支援をし、コロナ禍での育児不安や負担を軽減できるよう支援するとともに虐待予防に努めた。</p>						
6 事業の方向性の判断		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合				
評価主体	(1)一次評価 (担当課長)	(2)二次評価 (政策推進課長)	(3)最終評価 (町長)			
評価	2					
説明	妊娠前から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援の提供を行うため、事業をきめ細かく展開している。子育て支援策の中心的な事業。					